

公益財団法人 日本バレーボール協会
第12期・2021年度事業報告
(2021年4月1日～2022年3月31日)

今年度は、2019年度末に発生した新型コロナウイルスの感染拡大のなかで2020オリンピック・パラリンピック東京大会（以下「東京2020大会」という）が無観客で行われたが、ほとんどの大会が中止または大幅な制限を受けた中で、すべてのカテゴリーの日本代表チームが活躍の場を失うという2年続けての厳しい一年となった。

その中でビーチバレーボールの選手登録のミスにからむ隠ぺいが発覚し、会長、事務局長がそろって辞任するという未曾有の事態となった。3月22日に川合俊一氏が会長に就任し、バレーボールへの信頼回復が急務となった。

(1) 今年のトピックス

- ① 東京2020大会が無観客で開催され、男子は1992年のバルセロナ大会以来29年ぶりに決勝トーナメントに進出し7位となり、女子は1996年アトランタ大会以来25年ぶりの予選敗退の10位となった。また、ビーチバレーボールは男女ともに予選敗退となった。
- ② 第4回バレーボールネーションズリーグ（VNL）がイタリアで開催され、男子は11位、女子はVNLとしては過去最高の4位となった。
- ③ 東京2020大会の前哨戦として5月に日本代表国際親善試合～東京チャレンジ2021～を男女とも中国を迎えておこなった。
- ④ 9月には第21回アジア男子バレーボール選手権大会を千葉県で開催し2位となった。
- ⑤ タイのプーケットで開催された「ビーチバレーボールアジア選手権」で石井美樹・溝江明香のペアが日本選手として2001年以来の決勝進出を果たし準優勝となった。
- ⑥ 天皇杯・皇后杯は開催できたが、ほとんどの国内大会が中止に追い込まれた。
- ⑦ 緊急事態宣言等の発令などにより、事務局の閉鎖、50%在宅などを長期間にわたって実施した。

(2) 決算について

オリンピックの延期により今年度も引き続き強化に注力する赤字予算を計上したが、継続するコロナ禍のもと、多くの事業で影響を受け予算通りに実施できなかった。反面、収入面ではオリンピック開催年度もあり大きく落ち込むこともなく順調に推移した結果、黒字決算となった。

収入面では、当初予算1,572百万円から463百万円増の2,035百万円となり、支出面では当初予算2,045百万円から264百万円減の1,781百万円となった。税引き後の最終利益は230百万円となった。

★略称解説★

AVC	アジアバレーボール連盟 (Asian Volleyball Confederation)
BVT	ビーチバレーボールツアー
FISU	国際大学スポーツ連盟 (International University Sports Federation)
FIVB	国際バレーボール連盟 (Fédération Internationale de Volleyball)
JOC	公益財団法人日本オリンピック委員会 (Japanese Olympic Committee)
JSC	独立行政法人日本スポーツ振興センター (Japan Sport Council)
JSPO	公益財団法人日本スポーツ協会
NF	各国のバレーボール協会 (National Federation)
NTC	味の素ナショナルトレーニングセンター
VNL	バレーボールネーションズリーグ (Volleyball Nations League)
Vリーグ機構	一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

<事業活動>

1. 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

【バレーボール】

(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業

新型コロナウイルス感染症まん延の影響及び緊急事態宣言による活動禁止、自粛の影響を受け活動は限定されたものとなった。

1) 男子・女子日本代表チーム強化合宿

男子、女子チームとも5シーズン目の中垣内・中田両監督体制で7月開催の東京2020大会での目標(男子:ベスト4・女子:メダル獲得)達成のため、男子・女子中国代表チームを招聘したオリンピックテストイベント 国際親善試合、2年ぶり開催のバレーボールネーションズリーグへの参戦とともに、新型コロナウイルス感染予防に細心の注意を払いNTCにて合宿を行った。

■男子:国内合宿・NTCを中心に強化合宿を実施

海外合宿・全中止

■女子:国内合宿・NTCを中心に強化合宿を実施

海外合宿・全中止

注) 日本代表チームとはトップレベル選手で構成された日本代表チーム

2) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

8月に中国・成都で開催される予定だったFISUワールドユニバーシティゲームズは2022年開催に延期。男子・女子ともに延期された同大会のためのメディカルチェックを兼ねた合宿などを開催するのみとなった。

■男子：国内合宿(WUG 派遣手続きのみ)・NTC で実施 (2022 年 2 月)

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施 (2021 年 12 月、2022 年 2 月)

注) ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本代表チーム

3) 男子 U21・女子 U20 日本代表チーム強化合宿

新型コロナウイルスの感染拡大により前回大会優勝を果たし 2 連覇を目指していた第 21 回女子 U20 世界選手権大会 (オランダ・ベルギー) を出場辞退、強化合宿も大幅に中止となった。

■男子：国内合宿・全て中止

■女子：国内合宿・岩手県紫波町オガールで 2022 年 3 月実施

注) 男子 U21・女子 U20 チームとは、男子が 2001 年 1 月 1 日以降に、女子が 2002 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

4) 男子 U19・女子 U18 日本代表チーム強化合宿

男子は第 17 回男子 U19 世界選手権大会 (イラン)、女子は第 17 回女子 U18 世界選手権大会 (メキシコ)、いずれも出場辞退となったため、強化合宿も大幅に中止となった。

■男子：国内合宿・全て中止

■女子：国内合宿・岩手県紫波町オガールで 2022 年 3 月実施

注) 男子 U19・女子 U18 日本代表チームとは、男子が 2003 年 1 月 1 日以降に、女子が 2004 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

②競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、セカンドキャリアに関する啓発、情報発信

JOC、JSC 等と連携し、ナショナルトレーニングセンター内のバレーボール専用コート他の継続的な環境整備を計画した。(照明の LED 化工事は年度内調整できず次年度へ)

選手のセカンドキャリアについて、JOC 経由 JSC スポーツ振興基金助成事業 (選手・指導者研さん活動助成) を活用して引退した選手の大学院入学等の支援を実施。

③将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションについては、小学生はオンラインでの食育教室、歯科講習、競技レベル向上を目的とした映像配信を行い、発掘した選手のモチベーション維持、継続を実施。また、高校生においては全国 9 ブロックにおいて育成強化合宿を行い、有望選手の体力測定記録の収集とともに、国際的な選手の育成を行うために日本代表での指導歴のあるコーチの派遣を実施。

④競技力向上にかかわるバレーボール技術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

1) 日本代表選手の科学的測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案サポートした。

2) 日本代表チームとの対戦が想定される外国チームの戦力を掌握した。東京 2020 大会における男女バレーボールの世界の現状を把握するテクニカルレポートを作成した。

3) トレーナーおよびアナリストの育成、教育を行って日本代表チームに派遣するとともに、日本代表チームが利用する機材およびデータの管理・運用をした。

- 4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤を手配した。
- 5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上をはかった。
- 6) 感染症専門ドクターからの示唆を仰ぎ、新型コロナウイルスの感染対策を十分に実施したうえで安心・安全なトレーニング環境を創った。

⑤各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業

新型コロナウイルスの感染拡大により以下の限定された大会への日本代表選手団派遣となった。

■男子：

<日本代表>

- ・バレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ 2021～
5/1～5/2 東京・有明アリーナ 2勝0敗 対 中国代表
- ・FIVB バレーボールネーションズリーグ 2021
5/29～6/27 イタリア・リミニ 11位
- ・第32回オリンピック競技大会(2020/東京)
7/24～8/7 東京・有明アリーナ 7位入賞
- ・第21回アジア男子選手権大会
9/12～9/19 千葉・千葉ポートアリーナ 2位 (世界選手権出場権獲得)

<アンダーエイジカテゴリー (年代別日本代表) >

- ・第17回男子 U19 世界選手権大会 出場辞退
8/24～9/2 イラン

■女子：

<日本代表>

- ・バレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ 2021～
5/1 東京・有明アリーナ 0勝1敗 対 中国代表
- ・FIVB バレーボールネーションズリーグ 2021
5/25～6/26 イタリア・リミニ 決勝ラウンド進出 4位
- ・第32回オリンピック競技大会(2020/東京)
7/25～8/8 東京・有明アリーナ 10位

<アンダーエイジカテゴリー (年代別日本代表) >

- ・第21回女子 U20 世界選手権大会 出場辞退
7/9～18 オランダ・ベルギー
- ・第17回女子 U18 世界選手権大会 出場辞退
9/21～30 メキシコ

【ビーチバレーボール】

(1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

□東京 2020 ビーチバレーボール日本代表チーム決定戦

本大会は、東京 2020 大会ビーチバレーボール競技の開催国枠日本代表チーム選考会として開催。本大会で優勝した男女各 1 チームを日本代表チームとして内定した。

・開催日：女子大会 5月22日(土)・23日(日)

男子大会 6月5日(土)・6日(日)

・会場：女子大会 ドーム立川立飛 (東京都立川市)

【男子大会 TACHIHI BEACH (東京都立川市)

・参加チーム：男女各最大 6 チーム・ダブルエリミネーション方式

・優勝チーム：【女子】石井美樹(荒井商事/湘南ベルマーレ)・村上めぐみ(株式会社オーイング)

【男子】石島雄介(トヨタ自動車株式会社)・白鳥勝浩(トヨタ自動車株式会社)

※ 所属は当時のもの。

□AVC コンチネンタルカップアジア大陸予選セミファイナル(第2フェーズ)

東京 2020 大会の 2 枠目を獲得するために男女各 3 チームを派遣。男子は決勝でオーストラリアに 0-2 で敗戦し第 2 フェーズ敗退となった。女子は決勝ニュージーランドに 2-1 で勝利し、第 3 フェーズへの出場権を獲得した。

・開催日：6月18日(金)・19日(土)

・開催地：タイ(ナコンパトム)

・出場国：

男子 日本(東アジア)、カザフスタン(中央アジア)、レバノン(西アジア)、オーストラリア(オセアニア)、フィリピン(東南アジア)

女子 日本(東アジア)、ニュージーランド(オセアニア)、フィリピン(東南アジア)

※中央アジア地区、西アジア地区は出場チームなし

・派遣チーム：

男子 ◎高橋巧(ANA あきんど株式会社)・長谷川徳海(愛媛県競技力向上対策本部)

◎庄司憲右(愛媛県競技力向上対策本部/湘南ベルマーレ)・倉坂正人(三菱オートリース株式会社)

土屋宝士(恵比寿丸)・池田隼平(株式会社カブト)

女子 ◎鈴木千代(クロス・ヘッド株式会社)・坂口由里香(大樹グループ)

◎長谷川暁子(NTT コムウェア)・二見梓(東レエンジニアリング株式会社)

橋本涼加(トヨタ自動車株式会社)・村上礼華(ダイキアクシス)

監督 川合庶(公益財団法人日本バレーボール協会)

※◎出場した 2 チーム。所属は当時のもの。

□AVC コンチネンタルカップアジア大陸予選ファイナル(第3フェーズ)

第 3 フェーズに進出した日本女子チームは、1 回戦バヌアツに 2-0、続く準決勝はタイに 2-0 で勝利し決勝進出を果たすが、決勝戦は中国に 1-2 で敗戦し、2 枠目の出場権獲得とはならなかった。

・開催日：6月25日(金)・27日(日)

・開催地：タイ(ナコンパトム)

・出場国：

女子 日本、オーストラリア、中国、インドネシア、カザフスタン、ニュージーランド、タイ、
バヌアツ共和国

・派遣チーム：

女子 ◎鈴木千代（クロス・ヘッド株式会社）・坂口由里香（大樹グループ）
◎長谷川暁子（NTTコムウェア）・二見梓（東レエンジニアリング株式会社）
橋本涼加（トヨタ自動車株式会社）・村上礼華（ダイキアクシス）
監督 川合庶（公益財団法人日本バレーボール協会）

※◎出場した2チーム。所属は当時のもの。

優勝国：男子 オーストラリア / 女子 中国

□第32回オリンピック競技大会（2020/東京）

・開催日：7月24日（土）～8月7日（土）

・会場：潮風公園（東京都品川区）

・出場選手：

石井美樹（荒井商事/湘南ベルマーレ）・村上めぐみ（株式会社オーイング）

石島雄介（トヨタ自動車株式会社）・白鳥勝浩（トヨタ自動車株式会社）

・試合結果

女子 予選プール戦 F

第1試合

石井・村上 vs チェコ 2 (21-0, 21-0) 0 ※対戦相手が新型コロナウイルスに感染したため不戦勝

第2試合

石井・村上 vs ドイツ 0 (17-21, 20-22) 2

第3試合

石井・村上 vs スイス 1 (21-14, 19-21, 12-15) 2

ラッキールーザーマッチ

石井・村上 vs スペイン 0 (15-21, 10-21) 2

・最終順位 17位

男子 予選プール戦 F

第1試合

石島・白鳥 vs ポーランド 0 (15-21, 14-21) 0

第2試合

石島・白鳥 vs イタリア 0 (19-21, 16-21) 2

第3試合

石島・白鳥 vs ドイツ 0 (16-21, 11-21) 2

・最終順位 19位

(2) ビーチバレーボール年代別男女日本代表チーム

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、昨年度延期となっていた U19 ビーチバレーボールアジア選手権は開催されたものの派遣は見送るなど活動は限定されるものとなった。

一方で、2020年度から参画している JSC (日本スポーツ振興センター) 主催の「J-STAR プロジェクト」では、地域別の分散型練習会とオンラインプログラムを中心とした発掘・育成プログラムを実施した。その結果、プログラムに参加した選手の中から 2021 年度の育成事業の対象選手が 3 名輩出された。

2. 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業

(1) 国際大会開催事業

1) バレーボール日本代表国際親善試合～東京チャレンジ 2021～

- 開催期間 : 5月1日(土)～2日(日)
- 開催都市 : 東京都江東区(有明アリーナ)
- 出場チーム : 【男子】日本、中国
【女子】日本、中国
(選手団100人、競技役員50人、計150人が参加予定)
- 試合数 : 3試合 ※5月1日(土)男子1試合・女子1試合
※5月2日(日)男子1試合

日付	試合結果	入場客数
5月1日(土)	【男子】日本 3-2 中国 (21-15, 25-21, 23-25, 25-18, 15-8)	0
5月1日(土)	【女子】日本 0-3 中国 (16-25, 18-25, 29-31)	0
5月2日(日)	【男子】日本 0-3 中国 (25-20, 25-20, 21-25, 25-20)	0

2) 2021 バレーボール男子日本代表紅白試合

- 開催期間 : 5月8日(土)～9日(日)
- 開催都市 : 群馬県高崎市(高崎アリーナ)
- 出場チーム : 【男子】男子日本代表チーム
(選手団30人、競技役員25人、計55人が参加予定)
- 試合数 : 2試合 ※5月8日(土)男子1試合
※5月9日(日)男子1試合

日付	試合結果	入場客数
5月8日(土)	紅 3-0 白 (25-19, 25-21, 25-21)	1,886
5月9日(日)	紅 0-3 白 (23-25, 11-25, 20-25)	1,882

- 5月8日 【紅】高梨健太、西田有志、山内晶大、小野寺太志、藤井直伸、高橋藍、山本智大
【白】大塚達宣、清水邦広、李博、高橋健太郎、関田誠大、福澤達哉、小川智大
- 5月9日 【紅】大塚達宣、清水邦広、李博、高橋健太郎、藤井直伸、福澤達哉、小川智大
【白】高梨健太、大竹壱青、山内晶大、小野寺太志、関田誠大、高橋藍、山本智大

3) 第21回アジア男子バレーボール選手権大会

- ▶開催期間 : 9月12日(日)～19日(日)
- ▶開催都市 : 千葉県千葉市(千葉ポートアリーナ) / 同県船橋市(船橋アリーナ)
- ▶出場チーム : 開催国、前回大会上位10チーム、他アジア各5地域から上位1チーム(選手団320人、競技役員50人、計370人が参加予定)
- ▶試合数 : 延べ56試合《1日4試合×2会場×7日》

日付	試合結果	入場客数
9月12日(日)	日本 3-0 カタール (25-20, 25-23, 25-21)	2,636
9月13日(月)	日本 3-1 バーレーン (23-25, 25-17, 25-23, 25-16)	2,627
9月14日(火)	日本 3-0 インド (25-15, 25-15, 25-18)	2,634
9月16日(木)	日本 1-3 中国 (19-25, 29-27, 21-25, 19-25)	2,663
9月17日(金)	日本 3-0 オーストラリア (25-23, 25-17, 25-23)	2,655
9月18日(土)	日本 3-1 チャイニーズタイペイ (25-16, 22-25, 25-21, 25-20)	2,658
9月19日(日)	日本 3-0 イラン (25-27, 22-25, 29-31)	2,651

▶最終順位

順位	チーム	順位	チーム
1位	イラン	9位	インド
2位	日本	10位	バーレーン
3位	中国	11位	カザフスタン
4位	チャイニーズタイペイ	12位	サウジアラビア
5位	カタール	13位	ウズベキスタン
6位	オーストラリア	14位	ホンコンチャイナ
7位	パキスタン	15位	タイ
8位	韓国	16位	クウェート

▶個人賞

- ベストアウトサイドスパイカー : EBADIPOUR GHARA H. Milad (IRI)
- ベストアウトサイドスパイカー : 石川祐希 (JPN)
- ベストミドルブロッカー : MOJARAD Aliasghar (IRI)
- ベストミドルブロッカー : LI Yongzhen (CHN)
- ベストセッター : KARIMISOUCHELMAEI Javad (IRI)
- ベストリベロ : HAZRATPOURTALATAPPEH Mohammadreza (IRI)
- ベストオポジット : 宮浦健人 (JPN)
- MVP : KAZEMI Saber (IRI)

4) FIVB バレーボールネーションズリーグ 2021

FIVB バレーボールネーションズリーグは、参加権を与えられたコア12チームにチャレンジャー4チームが加わり、2018年からスタートした世界転戦型のリーグ戦方式の大会。2018年に第1回大会が行われ、2024年までは、男女日本代表チームはコア12チームのひ

とつとして参加資格が与えられている。

2021年大会は、当初京都男子大会、富山男子大会、富山女子大会が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一国に参加16チームが集結する方式に変更して開催することが決定された。

(3) 国際貢献・交流事業

1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業

FIVB および AVC の理事職および競技運営、審判規則、指導普及、医事ほか各種委員会の委員として JVA の代表を派遣し、世界のバレーボール界の発展に寄与するとともに国際的な貢献を行う。

リモート会議が中心となる中、FIVB 理事会がコロナ禍になり初めて対面開催された。他 AVC 理事会や各種会議に当該メンバーを派遣するとともに、国際レベルの指導者講習会への講師の派遣と FIVB および AVC が主催する大会への競技役員ならびに審判員を派遣した。

2) バレーボールバンク事業

自国におけるバレーボール普及発展のため用器具等の支援が必要な国に対し、競技会やトップバレーボールチームが使用したボール、その他バレーボール用器具を寄贈して競技の普及を図り、同時に様々なバレーボール情報を提供し、国際社会におけるスポーツ振興に寄与する。併せて同事業の戦略的展開を通じ、寄贈対象となった各国のバレーボール協会 (NF) との友好を結び、連携強化を図る。

3) 国際移籍 (International Transfer Certificate)

FIVB が定める手続きに従い、国内リーグでプレーする外国籍選手および海外リーグでプレーする日本人選手の承認を NF として行う。国内リーグ所属チームのサポートも含む。日本人選手については、所定の移籍金を徴収する。

3. 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

(1) 競技者拡大

新型コロナウイルス感染拡大の影響により下記事業の一部を中止、延期とすることとなったが、開催した事業においては多くの選手が参加し、競技者の拡大を図ることが出来た。

1) V リーグ選手と一緒にバレーボール教室

全国5会場での開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により下記1会場で開催。

◆高知県香南市

- ・開催日：2021年10月9日(土)
- ・開催場所：野市総合体育館
- ・参加人数：86名(男子：34名、女子：52名、未経験者：2名)

2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進事業

全国9ブロックで各会場年間1回の実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により全て中止。

3) 全国小中一貫バレーボール教室事業

全国 3 会場で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により全て中止することとなった。

4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践事業

全国 9 ブロックで開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により下記 4 会場で開催。

◆京都府京都市

- ・開催日：2021年7月14日(水)
- ・開催場所：もりの詩保育園
- ・参加人数：28名（年中：14名、年少：14名）

◆岡山県真庭市

- ・開催日：2021年10月21日(木)
- ・開催場所：真庭市立落合こども園
- ・参加人数：30名

◆高知県香南市

- ・開催日：2021年9月27日(月)
- ・開催場所：香南市立野市幼稚園
- ・参加人数：28名

◆三重県四日市市

- ・開催日：2022年3月3日(木)
- ・開催場所：社会福祉法人 愛育会 三重愛育保育園
- ・参加人数：35名

5) アンダー10 大会促進事業

全国 20 か所で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により下記会場で開催。

◆岡山県備前市、美作市、岡山市（新型コロナウイルス感染拡大予防のため複数会場で開催）

- ・開催日：2021年10月2日(土)、3日(日)、12月26日(日)
- ・開催場所：備前市日生運動公園体育館、美作アリーナ、瀬戸町総合運動公園体育館
- ・参加人数：3会場合計 290名（男子：12名、女子：180名、混合：98名）

◆福岡県田川市、嘉麻市

- ・開催日：2021年10月17日(日)
- ・開催場所：田川市総合体育館、稲築体育館
- ・参加人数：192名（男子：62名、女子：82名、混合：48名）

◆青森県青森市

- ・開催日：2021年11月3日(祝)
- ・開催場所：マエダアリーナ
- ・参加人数：84名（女子：59名、混合 25名）

◆長崎県佐世保市、島原市

- ・開催日：2021年12月18日(土)

- ・開催場所：佐世保市総合グラウンド体育館、島原復興アリーナ
- ・参加人数：575名（男子：120名、女子：340名、混合：115名）

(2) 指導者養成・認定事業

各種別の指導者を対象に以下の主な養成講習会及び研修会を開催した。
なお、大半の事業は新型コロナウイルス感染症により中止となった。

1) 都道府県別バレーボール指導者研修会

各都道府県における指導者の資質向上とクラブや部活動における諸問題の解決を図るための研修を行うと共に、これから、地域において新たに指導者を目指す者の育成と普及・振興を目的として、全国2か所（滋賀・岡山）で開催

参加者数：52名

2) JSPOからの受託事業として、JSPO公認コーチ4、コーチ3、コーチ2、コーチ1、バレーボール専門教科認定講習会等、資格取得に向けたバレーボール専門科目の講習会を実施

◆コーチ4（旧：上級コーチ）・コーチ3（旧：コーチ）

期日：8月7日（土）～9日（月）【前期】※オンライン講習会

期日：12月26日（日）～27日（月）【後期】※集合講習会

場所：明治学院大学（東京都）

修了者数：コーチ4：19名、コーチ3：71名

◆コーチ2（旧：上級指導員）※開催無し

◆コーチ1（旧：指導員）

場所：全国20会場（北海道、埼玉、千葉、東京、新潟、富山、長野、愛知、岐阜、三重、京都、大阪、兵庫、奈良、鳥取、岡山、広島、香川、愛媛、鹿児島）で開催

修了者数：コーチ1：692名

3) 公認講師認定講習会

本会が開催する講習会の講師を務める指導者を対象として、認定講習会を開催

期日：3月6日（日）

場所：「スタンダード会議室」（東京都）

認定者：8名

4) 全国小学生バレーボール指導者講習会

小学生に正しく、楽しいバレーボールを指導するための指導方法について研修し、指導者の資質向上を目的として第一次・第二次講習会を開催。

◆一次講習会

場所：全国1会場（香川）で開催 ※その他2会場は中止

受講者数：28名

◆二次講習会

場所：全国2会場（滋賀、鳥取）で開催予定であったが中止

◆準指導員（コーチ1専門科目修了者）認定（レポート審査）

前期：93名

後期：102名

5) 全国中学生バレーボール指導者研修会

中学生への指導方法を把握すると共に、指導者の資質の向上と現在の諸問題を解決すること

を目的に研修会を実施。

場所：全国2会場（福島、千葉）で開催 ※その他10会場は中止

参加者数：65名

6) 大学生バレーボール部員対象指導者講習会（コーチ1専門科目）

今年度については全日本大学連盟が主催となり開催

期日：12月18日（土）～19日（日） ※オンラインにて開催

期日：2月5日（日） ※当初の計画では東西会場に分かれて集合開催の予定であったがやむを得ずオンラインにて開催

場所：日本体育大学、学連本部、大阪府立工業高等専門学校

受講者数：192名

7) ビーチバレーボール指導者研修会

ビーチバレーボールの技術向上に関する指導者研修会とクリニックを開催

日程：11月13日(土)～14日(日)

場所：徳島県鳴門市「鳴門ウチノ海総合公園 ビーチバレーボールコート」で開催

参加者数：73名（指導者研修・クリニック）

8) ソフトバレーボール指導者資格認定事業

◆ソフトバレーボール・アクティブリーダー養成講習会

場所：全国3会場（新潟、香川、長崎）で開催 ※その他2会場は中止

受講者数：95名

◆ソフトバレーボール・マスターリーダー養成講習会・更新研修会

9月に東京にて開催予定であったが中止

◆ソフトバレーボール・アクティブリーダー研修会

場所：全国6会場（栃木、新潟、富山、静岡、奈良、熊本） ※その他6会場は中止

受講者：124名

(3) 審判員等養成・育成事業

新型コロナウイルス感染症が収まることなく、各種事業及び国内競技会の多くが中止となった。また、その他の会議・講習会についても感染症対策としてウェブ会議を併用して行った。

【6人制】	実施状況	開催地・会場等
全国ラインジャッジ・クリニック	中止	丸善インテックアリーナ大阪
国際審判員（S1 レフェリー）技術強化事業	中止	丸善インテックアリーナ大阪
6人制S1 レフェリー認定会	中止	サマーリーグ開催時
6人制S3 レフェリー技術強化事業	5～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員講習会（AC キャンプ）	実施せず	大阪（3泊4日）
B級審判員講習会（B レフェリーキャンプ）	実施せず	大阪（2泊3日）
A級審判員技術強化事業	11/29～12/1	東京（スーパーカレッジ）
全国6人制審判講習会	2022/2/23	東京（慶応義塾中等部）
【9人制】		
N1 レフェリー認定会	7/3～4	鳥取
N2 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員研修会	中止	大阪（住友電工）

審判員育成事業	中止 中止	愛知（一宮市） 徳島（徳島市）
全国9人制審判講習会	中止	大阪（予定）
【ビーチバレーボール】		
B1 レフェリー認定会	中止	未定
B2 レフェリー技術強化事業	中止	全国各ブロックで開催
A 級審判員研修会	実施せず	未定
特別A 審判員講習会（AC キャンプ）	実施せず	兵庫（明石市）
全国ビーチバレーボール審判講習会	中止	神奈川（予定）
■女性審判員育成事業	実施せず	未定
■新規【障害者対象審判員資格取得講習会】	実施せず	未定

（4） 審判員資格認定事業

A 級審判員資格取得講習会<A 級審査会>を分散開催で準備を進めたが、感染拡大の影響で2022 年度へ延期となった。受講生モチベーション保持のためにウェブ会議形式でのフォローアップ研修会を実施した。B 級キャンプも行うことができず初めての合同会となった。

4. 全国大会等国内競技会開催事業

【バレーボール】

（1） 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

国内最高峰の大会として位置づけられている本大会は、例年4月からの都道府県ラウンド、9月からのブロックラウンドを経たチームと V. LEAGUE の D1 全チームを含めた 24 チームで開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況により、都道府県ラウンドおよびブロックラウンドの一部を中止とした。なお、ファイナルラウンドは、本年度は D1 チーム数が増えたことにより、ブロックラウンドの勝ち上がりチームと V. LEAGUE の D1 全チームを加えた男子 26 チーム、女子 28 チームで開催した。

■ファイナルラウンド：（5 チーム参加）

開催期間：12 月 10～12 日（1 回戦～準々決勝）（有観客・収容率 50%にて開催）

12 月 18～19 日（男女準決勝・決勝）（有観客・収容率 50%にて開催）

開催地：群馬県高崎市 高崎アリーナ

優勝：男子・ウルフドッグス名古屋（5 大会ぶり 2 度目）

女子・JT マーヴェラス（2 大会ぶり 8 度目）

※会場内での徹底した新型コロナウイルス安全対策として下記の取り組みを実施した。

A PCR 検査の実施（選手・チームスタッフ、主審・副審）。

B 健康チェックシートの提出（大会関係者全員）。

C 観客には、入場の際に非接触型体温計と一部 QR コード読み取りでのチケット対応。

D 非接触型体温計を設置し、選手・スタッフと競技役員のゾーニング。

E 競技備品、チームベンチ、控室等の消毒の徹底。

F 入館時間の設定とソーシャルディスタンスの徹底。

- (2) 全日本小学生大会（男女・混合大会）
8月に開催を予定していた第41回記念全日本バレーボール小学生大会は、新型コロナウイルス感染拡大により都道府県予選大会および全国大会を中止した。
- (3) JOCカップ全国都道府県対抗中学大会
新型コロナウイルス感染（第6波）拡大前ということで、予防対策を入念に準備し大会を実施。
開催期間：2021年12月25～28日（代表者会議～決勝）
開催地：大阪府（丸善インテックアリーナ大阪、おおきにアリーナ舞洲、パナソニックアリーナ、大阪市立港スポーツセンター）
優勝：男子・東京（8年ぶり6回目） 女子・大阪北（4年ぶり3回目）
- (4) ジャパネット杯春の高校バレー第74回全日本高等学校バレーボール選手権大会
インターハイが中止となり、何とか大会を開催しようと全国高体連専門部と東京高体連、春高事務局とが何度も打合せを行い、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらリモート（無観客）で開催した。
開催期間：2022年1月5～9日（1回戦～決勝）
開催地：東京都（東京体育館）
優勝：男子・日本航空高等学校（初優勝） 女子・就実高等学校（2年連続4回目）
- (5) 秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会
男女各48チームの参加を得て実施。
■第74回秩父宮賜杯・第68回秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会
開催期間：11月29日～12月5日
開催地：東京都（大田区総合体育館 他）
優勝：男子・早稲田大学（5年連続9回目） 女子・東海大学（6年ぶり8回目）
- (6) 上記の各競技会に加え、JVA主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会開催状況。

大会名等	開催期間	開催都市
第7回全日本9人制バレーボールトップリーグ男子 オープニングラウンド ファイナルラウンド	中止 12/18～19	三郷市 京都市、向日市
第73回全日本9人制実業団女子選手権大会 第74回全日本9人制実業団男子選手権大会	中止	松江市
第41回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	中止	広島市
第41回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	中止	大阪市
第20回全国社会人東ブロック男女優勝大会	中止	帯広市
第20回全国社会人西ブロック男女優勝大会	中止	久留米市
第90回全日本9人制総合女子選手権大会 第91回全日本9人制総合男子選手権大会	中止	大阪市

第12回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会（地域リーグ）	4月～12月	全国各地
第12回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会（東西決勝リーグ）	3/26～27(延期)	未定
第12回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会（グランドチャンピオンマッチ）	中止	未定
第69回黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	中止	大阪市
第41回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	中止	高知市
第41回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	中止	大津市・草津市
第24回全国ヤングクラブ優勝大会	中止	門真市
第10回全国ソフトバレースポレクフェスティバル	中止	船橋市
第23回全国ソフトバレーレディースフェスティバル	中止	佐賀市
第29回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル	中止	桜井市
第6回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル	中止	八代市
第12回全国ヴィンテージ8s交流大会	中止	御殿場市

(7) 公益財団法人日本スポーツ協会との共催で開催予定であった下記大会は、新型コロナウイルス感染症拡大のために中止となった。

1) 国民体育大会バレーボール競技（中止）

日程：10/1～4 開催地：三重県津市

2) 日本スポーツマスターズ2021（中止）

日程：9/18～21 開催地：岡山県岡山市、赤磐市、津山市、真庭市

(8) 公益財団法人全国高等学校体育連盟等との共催で開催予定の下記大会は、予防対策を入念に準備し大会を実施。

1) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技

日程：7/27～31 開催地：石川県金沢市

優勝：下北沢高等学校（3年ぶり4回目）

2) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技

日程：8/2～6 開催地：石川県金沢市

優勝：鎮西高等学校（4年ぶり4回目）

3) 全国高等学校定時制・通信制大会

日程：8/11～14 開催地：神奈川県平塚市

優勝：男子・科学技術学園刈谷高等学校 女子・城南高等学校

(9) 公益財団法人日本中学校体育連盟等との共催で開催予定の下記大会は、予防対策を入念に準備し大会を実施。

1) 全日本中学校バレーボール選手権大会

日程：8/18～21 開催地：埼玉県所沢市、さいたま市

優勝：男子・足立区立渕江中学校（7年ぶり2回目）

女子・金蘭会中学校（2大会連続5日目）

【ビーチバレーボール】

(1) 全国大会等国内競技会開催事業

1) ジャパンビーチバレーボールツアー (BVT1)

昨年度は新型コロナウイルス感染症まん延の影響を受け、1大会のみの開催となったが、本年度は新型コロナウイルス感染症に関する感染防止策(大会運営ガイドライン)を徹底の上、全7大会を開催した。

今年度も、株式会社マイナビ様にツアー冠協賛に付いていただき、「マイナビジャパンビーチバレーボールツアー2021」として開催させていただいた。

マイナビジャパンビーチバレーボールツアー2021	実施状況	開催地
第1戦 立川立飛大会	5/8-9	東京都立川市
第2戦 平塚大会	8/28-29	神奈川県平塚市
第4戦 名古屋大会	9/11-12	愛知県名古屋市
第5戦 都城大会	9/18-20	宮崎県都城市
第6戦 松山大会	10/2-3	愛知県松山市
ファイナル大阪大会	10/16-17	大阪府大阪市
第3戦 沖縄大会 (9月から延期)	11/27-28	沖縄県豊見城市

2) 国民体育大会ビーチバレーボール競技 (正式競技)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。

大会名等	実施状況	開催都市
第76回国民体育大会	中止	三重県津市

3) 日本選手権

各世代の日本一を決める日本選手権大会として、本年は以下の大会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により一部大会を中止した。

大会名等	実施状況	開催都市
第33回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	7/15~16	兵庫県明石市
'21 ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	中止	愛媛県伊予市
第20回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	中止	大阪府阪南市
第35回ビーチバレージャパン	中止	神奈川県藤沢市
第32回全日本ビーチバレー女子選手権大会	中止	大阪府泉南郡岬町
第12回全国中学生ビーチバレー大会	中止	神奈川県藤沢市

4) その他全国大会

JVA 主催大会として、本年は以下の大会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により一部大会を中止した。

大会名等	実施状況	開催都市
第3回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会	7/17~18	兵庫県明石市
ビーチバレー・ルナカップ in 御宿	中止	千葉県御宿市
第13回ビーチバレー川崎市長杯	11/13-14	神奈川県川崎市

5. マーケティング事業

JVAの事業を安定的に運営すべく、バレーボールの社会的な価値およびJVAが所有する各種プロパティの価値を向上するための適切なプロモーション活動を行い、JVAの事業に賛同いただいている協賛社とのパートナーシップ強化および新規協賛社の獲得に向け、積極的に活動を行った。

6. 用具、用品等の公認事業及びその他の公認物品販売事業

(1) バレーボール用品・用具の公認・推薦事業

競技の公正、安全ほか競技者が安心して楽しくプレーできるように、ボール、ネットほか用品・用具の公認・推薦の認定を行うとともに、競技者及び体育施設等へ、より良い用品・用具が提供されるよう、販売・製造事業者への働きかけを行った。

また、公認審判員に対して、資格保有者としての自覚を促すため、公認物品の販売を通してその着用を推奨した。

(2) ルールブック販売事業

バレーボールの愛好者、審判員、指導者をはじめとする多くの方々に、ルール情報を提供するために、公認ルールブックであるバレーボール6人制競技規則、同9人制競技規則、ソフトバレーボール競技規則、ビーチバレーボール競技規則を販売した。なお、2021年度版は昨今の状況を踏まえ制作見合わせとした。

7. V. LEAGUE 開催及び開催支援事業

Vリーグ機構が主催するV. LEAGUEの開催においてバレーボール界の普及・発展のために大会運営およびバレーボール教室などの事業を連携して実施した。

また、全国各地で開催されるV. LEAGUEに、競技運営責任者(JURY)と審判員を派遣し直接大会運営に携わった。

8. 収益事業

(1) 肖像使用許諾事業

JVA登録選手の肖像権等の管理運営を行い、肖像権使用料収入を得て、一定額を肖像が使用された選手等に配分した。

(2) バレーボール関連グッズの販売事業

バレーボールの魅力を高め、見る、する人口の拡大に貢献するような商品の開発、販売を行った。

9. 東京 2020 大会準備室

東京 2020 大会におけるバレーボール競技、ビーチバレーボール競技及びシッティングバレーボール競技の成功と盛り上げに向け準備室は、「アスリートファースト」及び「レガシー」を念頭にスポーツ庁や東京都、そして公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及び FIVB との連携と協同作業を行い、競技施設、競技運営、テストイベント、事前キャンプにかかわる諸準備を推進した。

- ① 5 月に有明アリーナにてバレーボール競技のテストイベントとして中国男女ナショナルチームを招聘し、開催した。
- ② ビーチバレーボール競技役員の研修会を WEB 等、活用し実施した。
- ③ 2021 年度に延期となった東京 2020 大会の告知・プロモーションを計画し、オリンピックムーブメント醸成に力を注いだ。
- ④ パラリンピック競技（シッティングバレーボール競技）については、一般社団法人日本パラバレーボール協会と連携を取りながら協力をした。
- ⑤ 東京 2020 オリンピック開催期間：2021 年 7 月 23 日（金）～8 月 8 日（日）
バレーボール：8 月 24 日（土）～8 月 8 日（日）
ビーチバレーボール：8 月 24 日（土）～8 月 7 日（土）
東京 2020 パラリンピック開催期間：2021 年 8 月 24 日（火）～9 月 5 日（日）
シッティングバレーボール：8 月 27 日（金）～9 月 5 日（日）
- ⑥ コロナ禍の状況によりとても残念であったが、無観客にて開催された。

10. その他

(1) 加盟団体との連携強化

本会の加盟団体および全国的に組織されたバレーボール競技団体の選手の発掘・育成および強化を図る目的で、国内大会における MRS 登録に関するサポートや競技役員の派遣を通じて、またコロナ禍における安全な大会運営を実施するために各種事業に対する支援を行った。

(2) JVA メンバー制度登録管理システム (Membership Registration System)

MRS については、バレーボールを愛するすべての方々に参加いただける、バレーボールファミリー会員制度（仮称）を構築し、将来に向けてリニューアルを継続検討。登録規程の事前準備として、規定内容と現状運用の差異の把握、また有資格者への運用の再検討を開始した。

(3) 競技者拡大活動

全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施する。そして、各世代別（小学生・中学生・高校生）有望選手の記録をデータ化し、選手情報を経年的に強化委員会等で共有する。また、年 1 回各カテゴリー（中学生・高校生）別の有望選手達による選抜チームを編成し、国内・海外で外国人チームとの国際試合を行い、国際的に通用する選手の育成を行う。加えて、将来のオリンピックを見据えたターゲット選手を選定し、それらの選手の一貫指導を実施していく。

(4) 競技の高潔性を保ちアンチ・ドーピングを遵守する

日本代表やトップリーグのチームに対して講習会を実施し、バレーボール界における更なるドーピング知識の浸透を図った。また、JADAから提供されるeラーニング等のデジタルコンテンツを活用した教育活動を行った。今後も競技者のみならず来場者等第三者へのアウトリーチプログラムを推進し、幅広い年齢層・カテゴリーへのアプローチを模索していく。また2022年度から教育強化のために設定される「JADAナショナル・プール」対象者へのアプローチについても協力実施していく。

以上